

SETOGIWA TIMES

発行者：行政書士塩見事務所 E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com
大阪市中央区谷町 2-5-4 702号 Tel: 06-6946-9505

❶ 知らないのはダメ！

「法律に詳しくない者を相手に、専門家は法律の説明をするけれど、それはとても分かりにくい」（依頼者・相談者の声）・・・これは当然のことです。

もっと簡単に！ **More simplicity!**

しかし、「難しい法律の説明はいらない」ということは、「法律を知らなくてもいい」ということではありません。受けた相談に対して、専門家がやさしい言葉で説明したとしても、法律の裏づけがないとその説明は一貫性がなくなり、依頼者・相談者に「大丈夫かな?」という不安を抱かせることになるでしょう。

「信頼できる」と感じさせる専門家は、自分が専門とする仕事の参考資料を数多く読んでいるものです。参考資料の中には、正反対の考え方を示すものもあつたりしますが、いくつかの考え方をつき合わせることで専門家は判断力を養い、現実に取り扱った事件に最も適切な答を提供するのです。

理想的な専門家とは、幾種類もの答を用意していて、依頼内容に応じてそのひとつをドラッグがポケットから取り出すように、「貴方が欲しい答は、これですか?」と依頼者・相談者に示せる人だと言えます。

❶ どうすれば見つかるの？



世の中にはいろいろな種類の専門家がいます。依頼者・相談者は、相手を間違えないように、自分が困っていることに一番確実に答えてくれそうな専門家を探さねばなりません。それには、どんな方法があるでしょう？

インターネットで探しますか？でも、いい事はいっぱい書いてあるけどなんとなく胡散臭そうなホームページもあるし、どうもすんなり信用できません。インターネットで探すには、「自分が本当に相談したいことは何か」をよく考えた上で相談内容に関するネット上の情報を比較して選ぶ、ということが必要でしょう。

友人・知人の紹介？ウン、これは少し確かかもしれません。実際に相談をしてそれなりに満足の行く対応をしてもらった人からの紹介なわけですから。

でも、それで安心はできません。一定の分野では専門家であっても、相談者が抱えている問題の専門ではない人もいるので、初歩的な質問をしてみて、それにどう答えるかを聴いてから決める、なんていうのもいい手かもしれません。

答によって「ああ、この人なら大丈夫そうだ」あるいは「この人は余りあてにならないな」という判断がつくことでしょう。

いくつかの手段を使って、確実な相談相手を選ぶことが大切です。

活用の仕方



相談する相手が決まったら、いよいよ面接相談です。専門家は相談者の話を聴き、時々質問をして問題の核心をつかもうとします。

相談者が語りつくした頃を見計らって、専門家は今後相談者がどうすればいいかを説明します。時には専門家は、相談者にとって耳の痛い、聴きたくないことを言うことがあります。しかしそこで腹を立てないで下さい。

誰だって言われた人が怒るような厭なことは言いたくないのです。でも、責任上言わないといけないから言うのです。

専門家に言われた厭なことも、後になって振り返ると「言われてよかった」と思えることがきつとあるに違いありません。なぜなら専門家は相談者に最善の答を返そうとするからです。 **In the best interests of you**

問題が発生するときには必ず相手方、利害関係者がいます。相談者の立場を尊重すれば耳に優しい答となるでしょうが、それだけでは問題が解決しないとすれば、相手方の立場に立った検討も必要になるでしょう。相談者の痛いところには触れずに問題を解決しようとする、最善の解決には結びつかないこともあるのです。専門家を困らせるのは、「本当はどうしたいのか」本音を言わない相談者や、とても叶うはずのないことを希望して、「何とかありませんか」と言う相談者です。

ほかにもできます：相続・遺言/交通事故/告訴・被害届/パスポート手続

E-mail: info@setogiwa.com Web: www.setogiwa.com